

こども

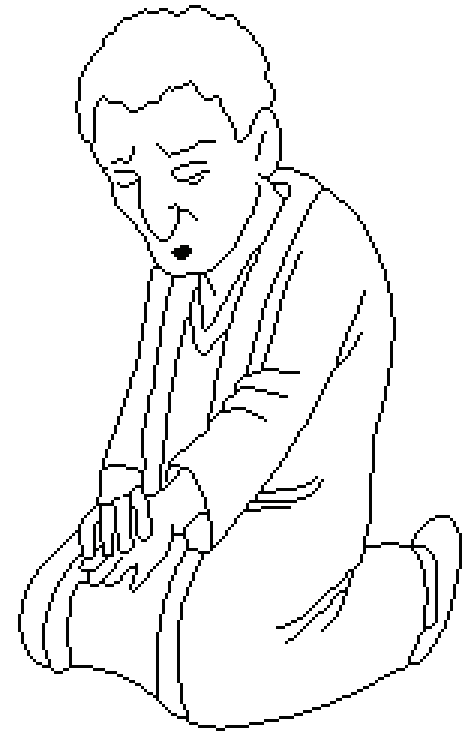
# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

ひと

なみだの人、  
エレミヤ



ぶん

文: Edward Hughes

え

絵: Jonathan Hay

かいさくしゃ

改作者: Mary-Anne S.

ほんやくしゃ

翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ

出版社: Bible for Children

[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

BFC

PO Box 3

Winnipeg, MB R3C 2G1

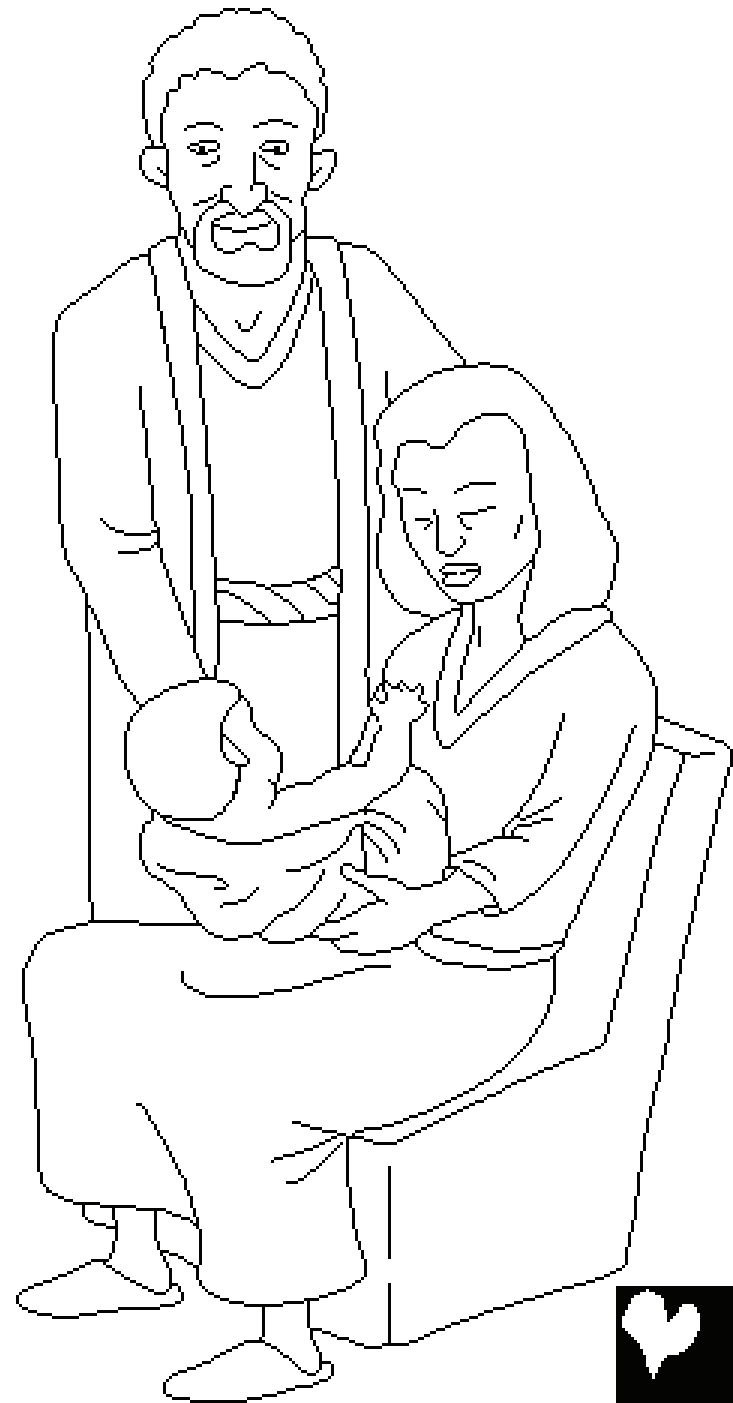
Canada

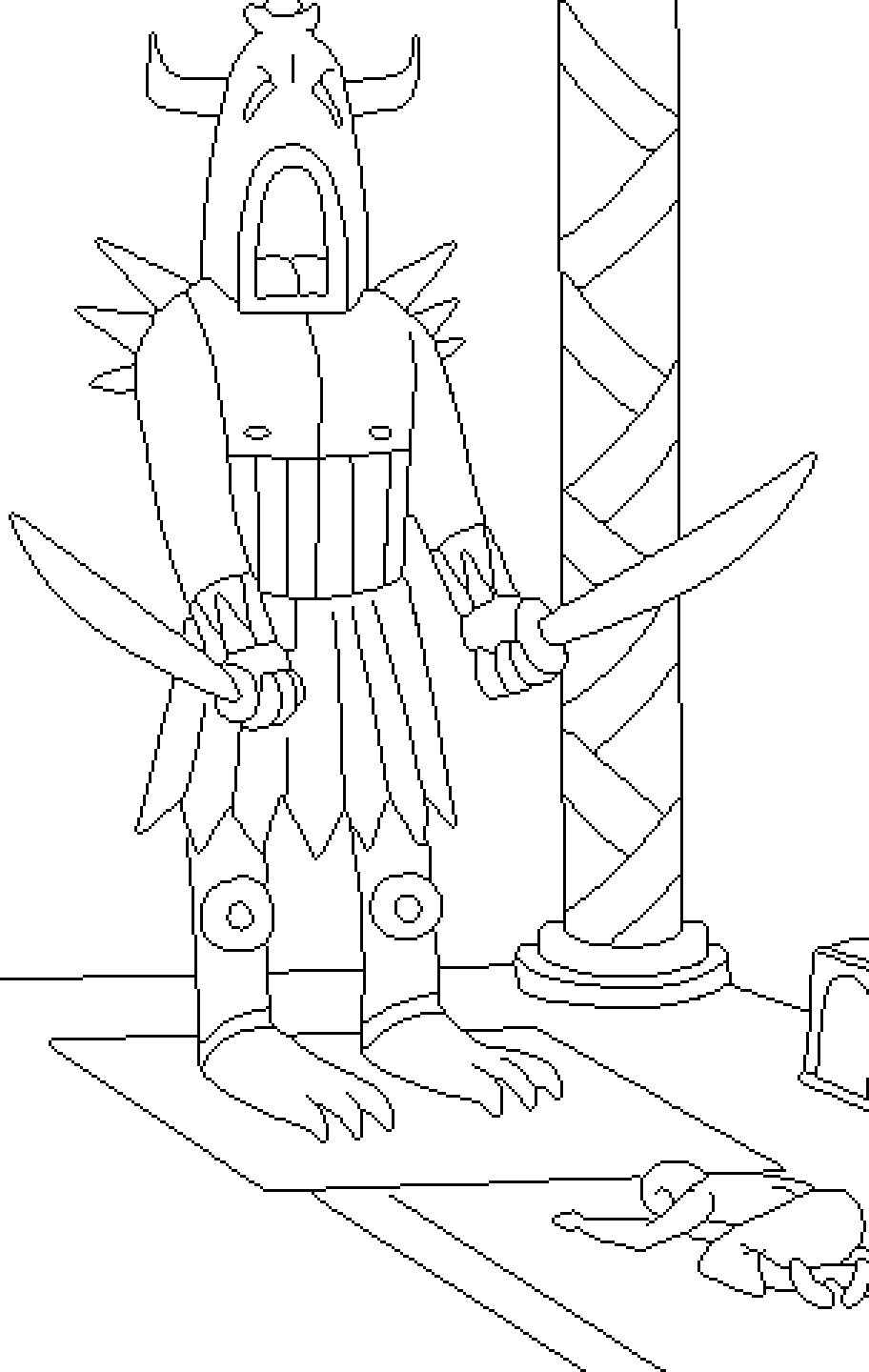
©2009 Bible for Children, Inc.

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。



エレミヤは、ユダの王国で生まれました。  
た。かれの家ぞくはみんな、心から神  
さまを信じて生きていました。お父さん  
ヒルキヤは、祭司です。かれの家ぞく  
は、エルサレムからそんなに遠くない町  
アナソスというところに、住んでいまし  
た。エレミヤのお父さんとお母さんは  
ね、かれもお父さんのように、きっと  
祭司になるだろうと思っていたのです。  
ところが、神さまはエレミヤにもっとほ  
かのことを、計画されていたのですよ。





う  
ちょうどエレミヤが生

かみ たみ  
まれたころ、神さまの民は、

かみ き  
神さまのことばなど聞かないで、  
す せいかつ  
好きかってに生活していました。

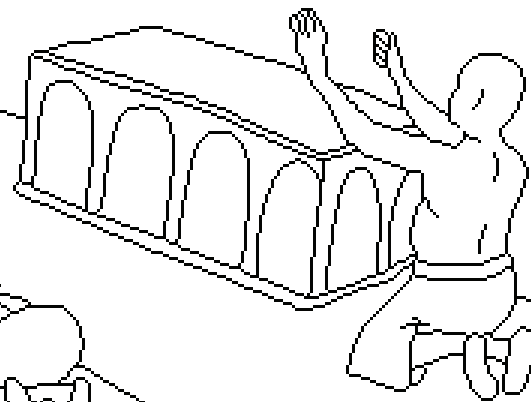
おう みぶん  
王さまから、身分のひくい

ひと ひと  
人たちまで、ほとんどの人たちが、

かみ れいはい  
うその神さまを礼拝していたのです。

かみ  
しかも、神さまがいらっしや

せい きゆうでん  
る聖なる宮殿でね。



エレミヤが、まだわか  
もの かみ  
者だったころ、神さま  
はな  
はこのように話されま  
した。「エレミヤよ、  
わたしは、おまえのこ  
う まえ  
とを生まれる前から  
し  
知っているんだよ。」

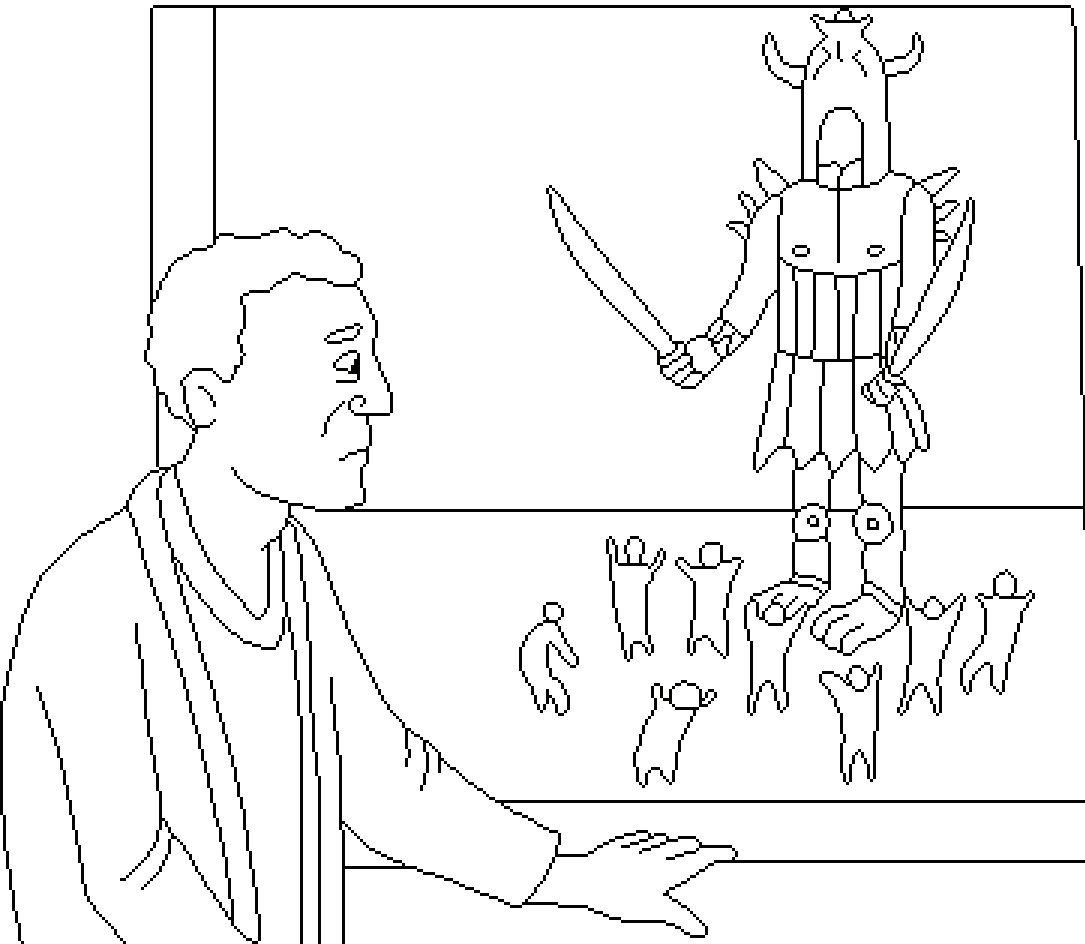
そして、また言われました。  
「そのときから、

わたしはおまえのために、ちゃんと計画をたてているんだ。  
けいかく  
わたしを、人々に告げるようにね。」  
ひとびと つ



エレミヤは、<sup>かみ</sup>神さまからの<sup>こえ</sup>声を聞いてびっくり！とてもこわかったようです。

「ああ、<sup>しゆ</sup>主なる<sup>かみ</sup>神さま！」エレミヤは、<sup>さけ</sup>叫びました。「わたしには、<sup>ひと</sup>人に<sup>はな</sup>話すことなんかできません。<sup>かみ</sup>神さま、わたしはまだ<sup>こ</sup>子どもなのです。」でも、じつは、エレミヤはもう子どもではありません。そのとき、もうすでに20さいでしたか



らね。それでもエレミヤは、<sup>かみ</sup>神さまの<sup>ひと</sup>ことを<sup>ひと</sup>人々に<sup>はな</sup>話すなんてとんでもないと思いました。どうしてって、<sup>おも</sup>かれのまわりの<sup>ひと</sup>人々は、<sup>わる</sup>ほんとうに<sup>ひと</sup>悪い人たちで、ひどいことばかりしているのですから。



「エレミヤ、おそれるな！」<sup>かみ</sup>神さまは、きっぱりとこう言<sup>い</sup>  
われ<sup>い</sup>ました。「さあ、エレミヤよ、わたしが行きなさい  
というところは、どこでも  
行くのだ！」

わたしが、<sup>はな</sup>話  
しなさいという  
ことは、なんでも  
言<sup>い</sup>うのだ！わたしが、  
いつもいっしょにいる  
のだから。わたしが、おま  
えをつかわそう。」あれっ、

それから<sup>かみ</sup>神さまは、エレミヤに<sup>なに</sup>何かとく  
べつなことをなさいましたよ。そう、

<sup>かみ</sup>神さまはエレミヤの口<sup>くち</sup>びるに、  
そっとふれられたのです。



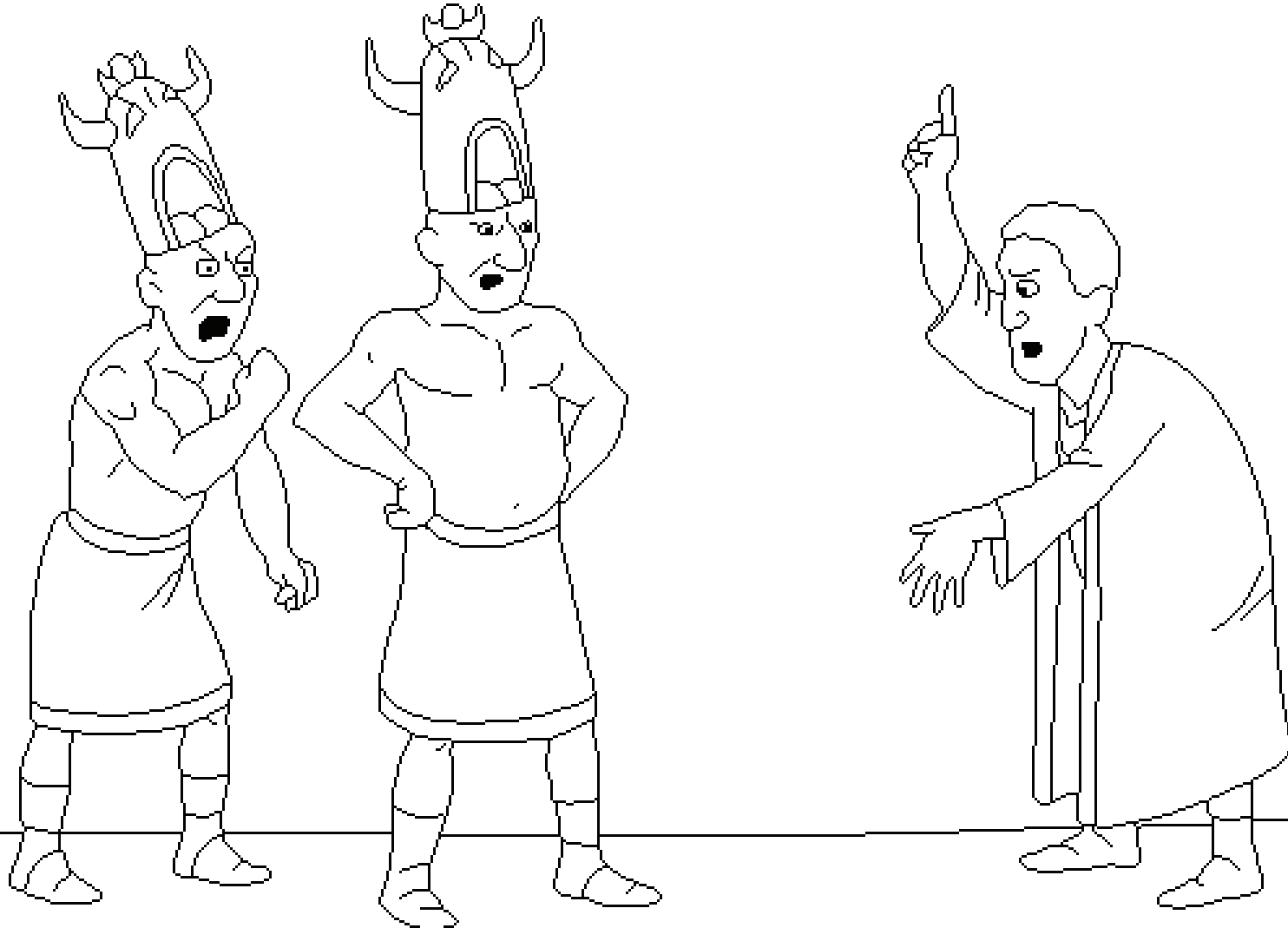
かみ ちから き ちえ あた  
神さまは、エレミヤに力、ゆう気、そして知恵を与えられました。すると、  
ひと おお こえ はな  
どうでしょう。エレミヤはたくさんの人のまえで、大きな声で話しはじめたでは  
かみ あい たす おも  
ありませんか。神さまが、愛していらっしやること、そして助けたいを思ってい  
おも だ はな  
らっしやることを みんなに思い出してもらおうとして、いっしょうけんめい話  
しました。でも、だあれ

はな  
もエレミヤの話しなんか  
き おう  
聞こうとしません。王さ  
までさえもね。





<sup>かみ</sup>神さまにつかえる<sup>さいし</sup>祭司でさえ、おこってこう言いました。「エレミヤ、もうやめ  
なさい、<sup>かみ</sup>神さまの<sup>はな</sup>ことを話すのは。」また、にせのよげん者<sup>しゃ</sup>たちも言いました。  
「エレミヤの<sup>い</sup>言っていることは、うそばかり。」



ねん

エレミヤは、100年ぐらいまえにあったできごとを、

ひとびと おも だ

人々に思い出させようと思いましたよ。それは、イスラエルの北の王国が、

きた おうこく

「神さまなんか、いらぬよ。」と捨ててしまったときのことです。

かみ

す

そのとき、かれらのてきアッシリア軍の人々が、

ぐん ひとびと

おうこく せ き

す

ひとびと

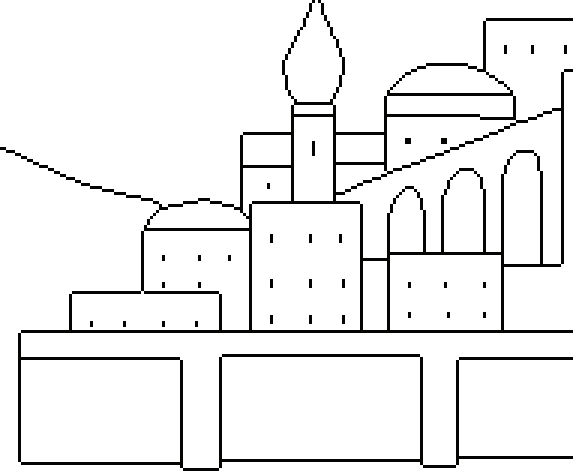
イスラエルの王国に攻めて来て、そこに住んでいた人々はみんな、

ち お

とおいとおい地に追いやられてしまったのです。



みなみ おうこく ひとびと  
今また、イスラエルの南の王国、ユダの人々が



かみ  
「神さまなんか、いらないよ。」  
い す  
と言って捨ててしまったのです。

ぐん む  
てきの軍たいが、もうすでにこちらに向かっ  
て来ているではありませんか。

かみ かみ たみ  
神さまは、神さまの民が、  
ほか たみ  
他の民にやっつけられ、  
ち お だ  
とおいとおい地に追い出されてし  
おも  
まってもよいと思ってい  
っしやるのでしょうか。



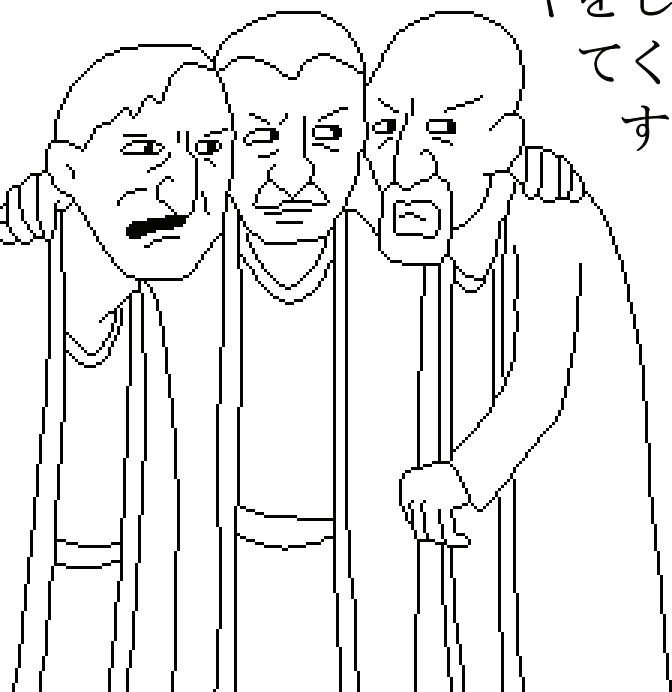
ひとびと　　こころ　　ぞう　　しん　　ぞう　　ぐん  
人々は、心からぐう像を信じていました。みなさん、ぐう像は、てきの軍たい  
ひとびと　　たす　　おも　　けっ　　かみ  
から人々を、助けることができると思いますか。いいえ！決してできません。神

さまだけが、助けることができるのですね。でも、ぐう像を信じる

ひとびと　　かみ　　はな  
人々は、神さまのことを話すエレミヤに、すっかりはらをたてま  
した。じつはね、みんなは「エレミヤをころしてしまおう！」って、

けいかく  
計画していたのですよ。エレミヤは、だいじょう　　ぶでしょうか？

かみ  
もちろんです。神さまが、しもベエレミ  
まも  
ヤをしっかりと守っ  
てくださっていま  
すからね。



とうとう神さまは、エレミヤがたいへん  
ショックをうけるようなことを、言われまし  
た。「エレミヤ、もうイスラエルの人々のた  
めに、祈らなくてよい。かれらが、どうか助  
けてくださいと、わたしに泣いてたのんだと  
しても、いまのところ聞くつもりはない。」



そこでエレミヤは、  
おう し  
王さまに知らせました。

「あなたの国は、  
くに  
バビロンの軍とのたたかいに、  
ま  
負けてしまうだろう。」

とね。それを聞いた王さま、  
おこ  
すっかり怒りました。「エレミヤを、  
すぐろうやに、ぶちこんでしまえ！」

でも、ろうやの中でもエレミヤは、  
なか  
みんなに神さまのことを話しつつけ、  
かみ はな  
神さまを心から信じつつけました。



で  
ろうやから出たあと、エレミヤは、  
また王さまや人々に神さまのお話しをし  
ました。「みんな、

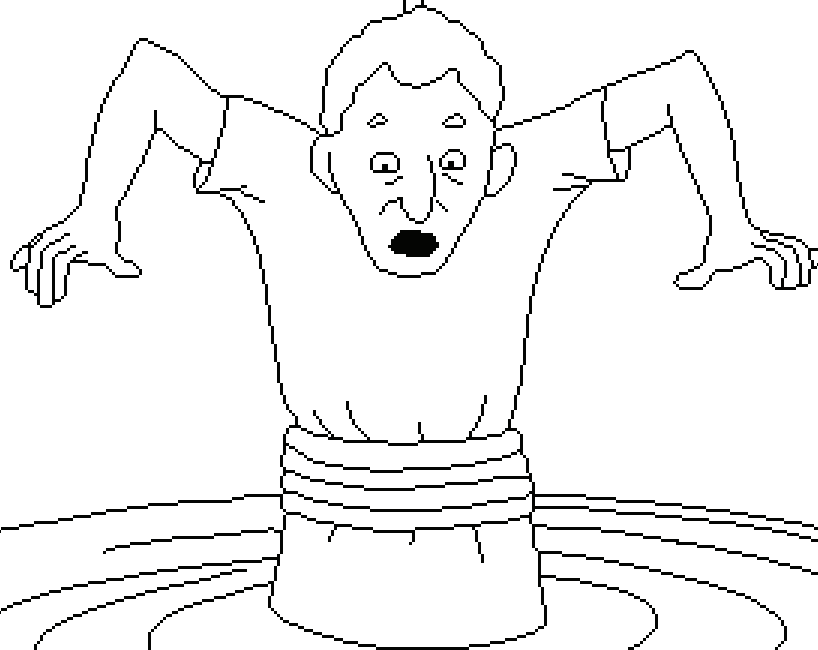
かみ  
神さまのもとにもどるんだ！

こころ しん  
心から信じるんだ！」って。

おこ おう  
怒った王さま、こんどはエレミヤを、

ふか ちか  
どろだらけの深い地下の

ほう  
ろうやに放りこんで  
しまいました。

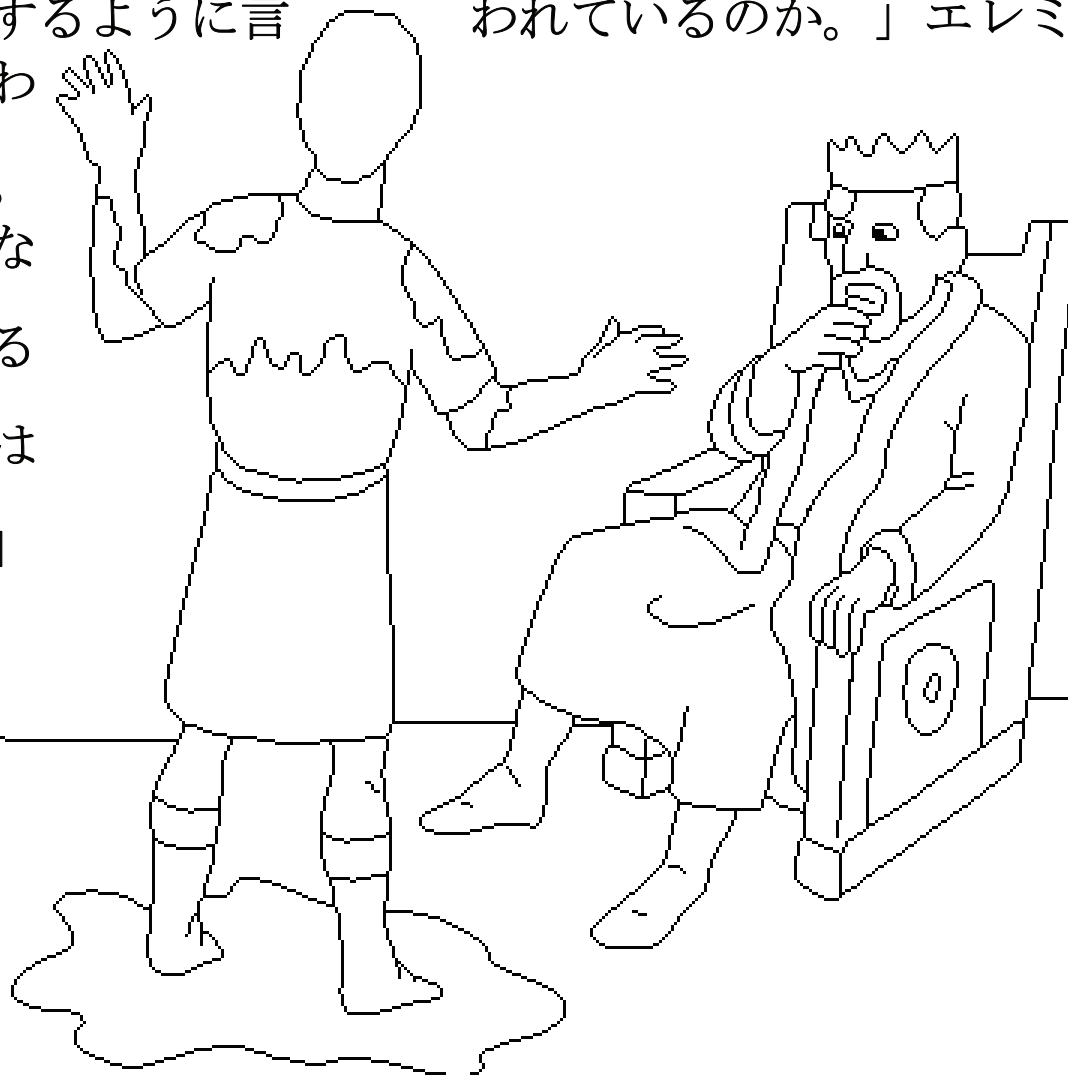


けれどもその後、<sup>ご</sup>神さまは、<sup>かみ</sup>王さまの<sup>おう</sup>心<sup>こころ</sup>を変えられたのです。<sup>かみ</sup>神さまを<sup>しん</sup>信じる

ようになった王さまは、みんなにわからないように、そっとエレミヤをろうやか<sup>おう</sup>から<sup>すく</sup>救い出<sup>だ</sup>しました。そして、エレミヤにたずねましたよ。「神さまは、王である

わたしに、何を<sup>なに</sup>するように<sup>い</sup>言<sup>い</sup>われているのか。」エレミヤの<sup>こた</sup>答えはこう

でした。「とらわ<sup>ひと</sup>れ人となるのだ。そうすれば、あな<sup>い</sup>たは生きてゆける<sup>かみ</sup>だろうと神さまは<sup>い</sup>言<sup>い</sup>われている。」





バビロンの軍たいは、エルサレムとユダのほとんどの地を、  
自分たちの物としました。かれらは、かべやたて物すべ  
てをこわし、何もかも焼きつくしてしまったのです。  
神さまは、言われました。「わたしの民は、70年  
のあいだ、とらわれ人とな  
るだろう。そしてその後、  
わたしは、かれらをやくそ  
くの地へつれもどす  
ことにしよう。」



ひと  
なみだの人、エレミヤ

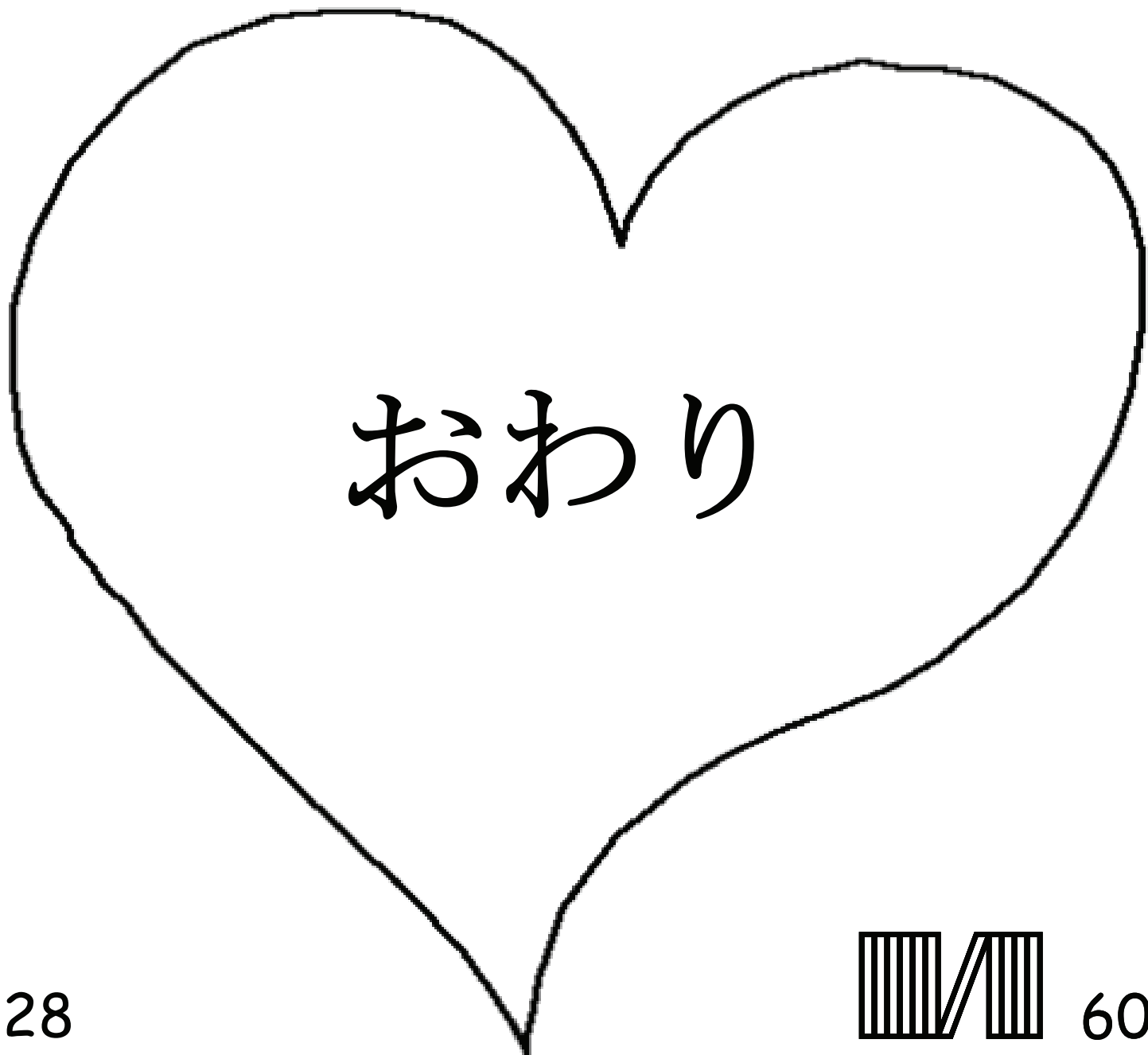
かみ み せいしよ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

しよ  
エレミヤ書

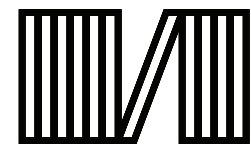
み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130





28



60



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、  
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、  
おも  
思っています。

かみ わたし かみ  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していらっしやいます。それを、神さま  
は、罪とよばれています。その罪のむくい、死です。

かみ あい ひとり こ  
けれども、神さまは、あなたをとて愛していらっしやいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ  
よ おく つみ じゅうじかじょう な  
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども  
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさ  
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま  
いま ところ き なか す  
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ  
まといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。  
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な  
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ  
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて  
いらっしやいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた  
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいる  
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす  
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ  
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

